

輝和美倶楽部

Made In Japan 目利き教養講座



Made in Japan 目利き講座 講師
元高島屋常務取締役 MD本部長兼仕入
総責任者 内野幸夫
モノを知り、商売を知り、世間を知るその
壮絶なキャリアは、価値を見極めるプロ
フェッショナルとして、現役を退いた
今もなお活躍中。多くの百貨店や小売業、
流通業、各所からひっきりなしにアドバ
イスを求められ、講演やコンサルティング
を行っています。そのプロが仰ぐプロ
をこのMade in Japan 目利き講座の専任
講師としてお招きしております。他でも
ない輝和美倶楽部の考え方に共感をもっ
ていただいたところをご縁でした。皆様
をプロの世界から現実的な俗世間までを
網羅した普遍的摂理を、なるほど！そう
だったのか。そんなリアクションをゴール
にして、面白おかしくご案内してまい
ります。

皆さんは、目利きと聞くとどのようなイメージを持たれるでしょうか。

辞書では、「器物・刀剣・書画などの真贋・良否について鑑定すること。人の良し悪しを見抜く力のこと」つまり、目利きには狭義と広義があります。皆さんがイメージする目利きは、実は狭い意味しか持たないものなのです。本来の根幹をなす意味といっちはなんですが、本来の目利きの意図するところをこの講座では学んでいきます。

目利きには狭義と広義があります

狭義の目利きとは、規定された一つの範囲内で最高とされる技量やデザインなどの価値を判定できる力量を示します。規定された一つの範囲とは、目利きを要求される最小単位を示します。目利きになるには広範囲な知識と情報が求められますが、所謂「お勉強」をすれば手に入れられるものであります。最小単位内での目利きは、時代や環境によりその価値を大きく変動させるもので、あくまで相対的価値観に過ぎません。本当にそのようなものを目利きが出来ると間違えて理解していいもののでしょうか。（裏面へ続く）

この講座では、本当の価値とはどういうことなのかをゴールに、皆さんに座学から体験、街歩きをしながら多くのことを学んでいただける総合講座にっています。

第1回

モノ」における目利き第1回
・日本橋高島屋にてブランドと本物の違いについて、現状のラグジュアリーブランドを検証します。

9月28日 16:00-18:30
集合コレド室町橋楽亭前



第2回

「食」における目利き
・和食処青山「とし緒」にて食における旨い・不味いを考えます。

10月15日 18:00-21:00
集合 青山「とし緒」

第4回

古来の目利きと正月
・目利きの意味と意義
・陰陽五行と日本人の価値基準
・街歩き（日本橋周辺）。

12月7日 16:00-18:30
集合コレド室町橋楽亭前

第5回

「コト」における目利き
・これからの時代に求められる「コト」について、人気の神楽坂を題材に街歩きします。

2月18日 16:00-19:00
集合 神楽坂駅前

第3回

「モノ」における目利き 第2回
・六本木ミッドタウン「ヴァレクストラ」においてモノの価値基準を学びます。

11月19日 18:00-21:00
集合ミッドタウンバレクストラ

本講座のお申し込み、お問い合わせは、

Facebook, info@kiwabi.clubまでお願いいたします。



第6回

「人」に対する目利きとは
・人間関係を円滑にする人間観察術を検討します。

3月11日
場所、時間はお問い合わせください。

広義の目利きとは、規定された範囲内ではなく、絶対的価値観の中で判断される基準の事を指し、空間や時間を超越して永遠不変の価値を見抜く力量を意味します。いつの時代にもどんな場所においても共通に認められる価値基準は変質することなく、物事の真理でもあります。最高レベルの技量は普遍的な美を生み出す絶対的な「力」であり、「哲学」に通ずるものを持っています。

例えば広隆寺の弥勒菩薩像は時代を超え地域を超えて、人々に普遍的な美を認識させる美しさを湛えています。日本人ばかりでなくアメリカでもドイツでもそのお顔の微笑みは『アルカー一句スマイル』として絶対的な美を表し続けています。

このように時代を超え得る美を認識しうるにはそれを創った技量やデザイン性を超え、見る人の感性に自然に訴えるモノを認める事が必要です。この美を理解できる感性を磨くには見る人の内面を鍛える必要が不可欠です。それは知識や情報を積み重ねるのでは得られず、自身の純粋な「好き・綺麗・素敵」といった素直な感情を大切にすることが最大の価値基準になっていきます。要するに自分が「好き」と感じたモノこそが重要で他人はそこには介在する余地は全くないのです。他人に認めてもらうのではなく自身の内面での絶対的価値観こそが「目利き」の神髄であります。

また、技量を磨くべくどれだけ長く時間を掛けたかや、納得いくデザインが生まれるまでどれくらい時間が掛かったか、といった時間が美を養う事は事実です。技量が高くなればなるほど、その結果生まれるデザインはシンプル化していきます、このシンプルさの積み重ねで複雑なデザインが完成され、総合的なまたシンプルに戻っていくのです。

<教養を起点としたクラフト講座のご案内>

なるほどそうだったのか。その教養を手に入れた後、自分の手による世界で1つだけのものづくりに参加してみませんか？輝和美倶楽部では、にほんのものづくりに資する職人によるクラフト講座を設けております。是非お気軽にご参加ください。

*11月19日の革に関する教養を起点とした革クラフト講座は11月21日を予定しています。

*12月7日の陰陽五行と正月に関する教養を起点として漆のクラフト講座を同日後半に開催を予定しています。